

# 北海道から 秋田県へ

氏名 花田 美菜子

北海道美唄市立東小学校 → 秋田県由利本荘市立西目小学校  
(期間：平成27年4月1日～平成29年3月31日)

## 1 派遣先の学力向上等の取組

(1) 授業スタイルをもとにした共通実践～西目っ子の学び～

- ① つかみタイム(5分)→問題の題意をとらえる。課題をつかむ。解決の見通しをもつ。
- ② 自分タイム(10分)→自分の力で考える。＜言葉・図・式・表等＞
- ③ つなぎタイム(15分)→比べたりイメージしたりして聴く。

小集団→全体での学び合い→個人の学び・気づき

- ④ まとめタイム(15分)→今日の学習についてまとめる。

振り返り→自己の変容の自覚。新たな問をもつ。

次時に生きる具体的な振り返り。

型にはめて安心しない。わくわく感のある授業を！

(2) 問題解決能力を高める授業作り

- ・「深い学びの過程」を実現する単元構成
- ・学びを自覚し、学びをつなげる振り返り



(3) 学ぶ意欲を高める手立ての工夫

- ① 子どもたちと共に行う課題設定
- ② 思考の過程が分かる板書構成
- ③ 学びが深まる小集団での学習
- ④ ゆさぶりの発問

論理的に考え直す場となる。



友達と補い合って考える。

他者に分かるように伝える。



自己の変容の手応え



(4) お互いの授業に学ぶ研修スタイル

- ・単元構想会
- ・指導案検討会
- ・ワークショップ形式の協議会

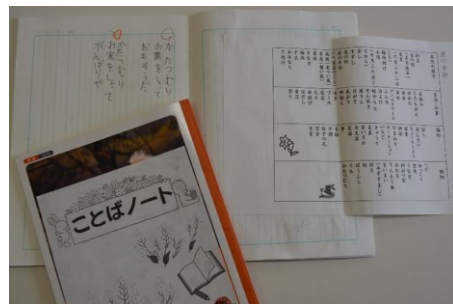
- ・提案授業
- ・評価の研修
- ・個の振り返り

(5) 学びの土台となる活動

①ことばの力を磨く

ア **ことばタイム**

- ・第1・第4水曜と第4金曜の朝の活動時間をことばタイムに設定する。
- ・「ことばノート」に言葉のイメージマップを作ったり、季節の中で感じたこと、読書した本から心に残った言葉や文を書き留めたりして、俳句や詩、短作文の創作をする。「ことばノート」により、語彙が拡充し継続した創作活動を行い、言葉に対する感性を磨く。
- ・お互いの作品を交流するときには、声に出して表現する時間を取り入れ、言葉の響きを味わう。
- ・「ことばは心コンクール」で俳句の創作と鑑賞を行う。各学年部に「俳句コーナー」を設置し、児童の作品を掲示して作品にふれる機会を多くする。
- ・「ことば集会」において学年発表や全校群読の時間を設ける。



ことばタイムの持ち方

第1水曜	ことば集め 作品創作
第4水曜	作品推敲・紹介
第4金曜	ことば集会

イ **マイ辞典の自主的活用 (3年生以上)**

- ・机の横に袋に入れておき、いつでも辞典を使って調べられるようにする。
- ・調べた言葉に蛍光ペンで印を付けたり、付箋を貼って調べた数が見えるようにして、活用の意欲付けにする。

ウ **読書**

- ・読書や授業の並行読書等において、図書室の積極的な活用を図る。机の中やロッカーなど常に身近に本を備えておくことですぐ読書ができる環境を整える。
- ・読書ファイルに読んだ本を書き込み、読書の足跡が分かるようにしている。また、お気に入り度も書き込んだり、教科書にのっている本の一覧が配布され、読破してみようと本に親しんでいる。
- ・司書の先生や図書委員により、図書館や学年ホールなどにもお勧めの本が紹介されている。
- ・親子読書 長期休業前には本を5冊まで借りることができ、親子で読書に取り組んでいる。一緒に読んだり、別々に読んだりして、感想を交流し合う。
- ・地域の方による読み聞かせ
- ・ALTによる英語の絵本の読み聞かせ

エ **音読**

- ・家庭学習と共に取り組む。
- ・今月の詩(プラス計算)と国語の教科書の音読。

オ **言語環境の整備**

- ・玄関ホールの俳句コーナー ・教室の掲示物
- ・職員室前や校長室前



▲学年ホールの俳句コーナー

## ②心を育てる

### ア 自己有用感を育てる学級作り

- ・期ごとに目標を立て、計画・実施・反省。委員会や学級の活動も連動している。

I期	4・5月	→	出会い・希望の春	(計画・整備)
II期	6・7月	→	挑戦の夏	(実践)
III期	8～10月	→	挑戦の秋	(ふりかえり・改善)
IV期	11・12月	→	高まりの秋	(充実)
V期	1～3月	→	成長の春	(評価・改善)

- ・Q-Uの実施・分析・よりよい学級集団作り

### イ 道徳・学級活動の時間の充実

### ウ 豊かな体験活動

- ・児童主体の縦割り活動
- ・地域素材を生かした総合的な学習の時間

### エ 清掃活動

- ・昼休み終了後、全校一斉清掃。無言、気づきの清掃で心も磨く。

### オ 毎日徒歩での集団登校

- ・昭和29年から、地域ごとに幼稚園の年長さんと集団登校。

### カ あいさつ運動

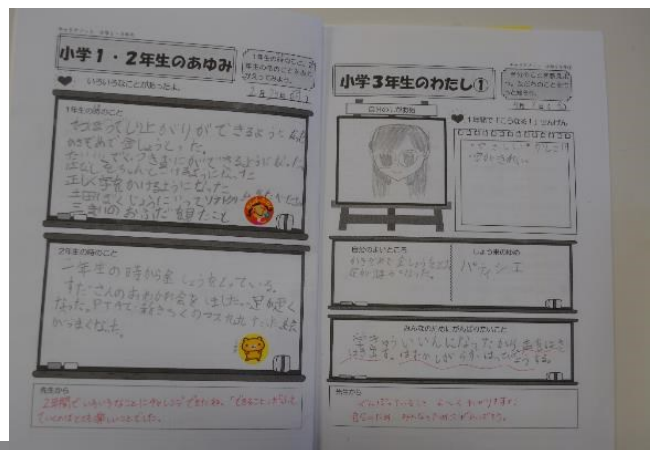
- ・運営委員の子どもたちが毎朝玄関に立ち、元気にあいさつをし、あいさつの輪を広げている。

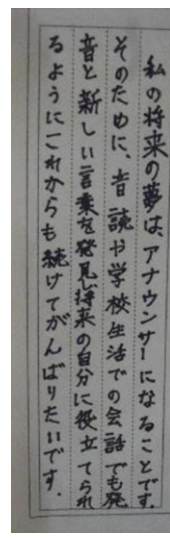
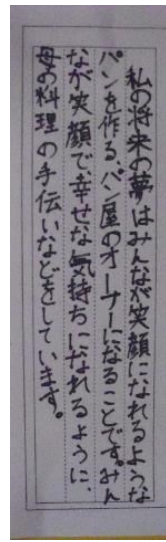
### キ キャリアノート・夢コーナー

- ・夢や希望をもって努力し、意欲をもって続ける子どもたち。
- ・小1～中3までの自分の夢やがんばり、思い出が綴られるノート。



▲キャリアノート





▲1年生から6年生まで、学級ごとに顔写真付きで紹介する夢コーナー

### ③学びを支える

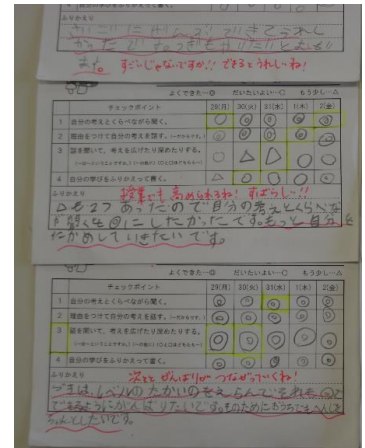
#### ア 学習の約束の徹底

- ・学習訓練チェック（5・8・2月）

#### イ 基礎基本と活用力を身に付けるチャレンジテスト

- ・年9回実施  
（5・6・7・9・10・11・12・1・2月）
- ・漢字と計算のテスト。
- ・1冊のファイルにまとめ、点数を書き込む。

保護者からもサインや励ましの言葉を記入してもらい、目標をもって取り組む。



▲学習訓練チェックカード

#### ウ 授業とリンクした実りある家庭学習

- ・家庭学習の手引きを4月の参観日に保護者の方と確認し、学年ごとに配布する。
- ・参観日には家庭学習ノートを展示し、より良い家庭学習になるよう働きかける。

#### エ なりたい姿を目指して

- ・「授業を見合う会」～3学期末、1つ上の学年の授業を見ることで進級後の具体的な学習のイメージをつかむ。（4年生以上）
- ・ノートのサンプル～国語・算数・社会・理科のノートを学級数名分ストックしておき、次年度に引き継ぐ。学習への期待や意欲がより高まる。

## 2 北海道に戻って実践したいこと

### (1) 秋田県で学んだことの実践

「あれ?」「おや?」「まてよ!」と問いをもち続け、思考を広げ深めるために、子どもたちの生活や体験に即した問題場面の設定をし、思考をうながす発問、話合いの視点を明らかにして根拠を問い返すなど教師の言葉を磨き、子どもたちが学びの質の高まりを実感する授業の構築をしていきたい。

### (2) 秋田県のよさと北海道のよさの融合、発信

- ① 問題解決能力を高める授業づくり
- ② 資質・能力を明らかにした授業
- ③ 学びを自覚し、思考をつなげる振り返り